

II-5 画像解析 ノート PC の設定

2013 年 9 月 4 日 臼杵 深

(1) 実験用フォルダの作成

実験用のフォルダを適宜作成し、実験で使用する画像ファイルとプログラムをコピーする。

(1-1) フォルダの作成

フォルダの名前や場所は自由に決めることができますが、以下では標準例を示します。

例) C ドライブの直下に “ImageAnalysis” というフォルダを作成します。

(1-2) 画像ファイルのダウンロード

三浦・臼杵研究室のホームページの機械工学実験のページ

(<http://ktm11.eng.shizuoka.ac.jp/experiment.html>)

で画像ファイルをフォルダごとダウンロードし、解凍します。

ファイル名の先頭が A のものは実験（その 1）用、B のものは実験（その 2）用で、実験では A と B でそれぞれ 1 つずつ、合計 2 つのファイルを使用します。

どの画像ファイルを実験で使用するのかは、実験中に指示します。

(1-3) 画像ファイルの移動

ダウンロードした画像ファイルを(1-1)で作成したフォルダに移動させます。必ず作成したファイルの直下に画像ファイルを移動させて下さい。

例) A034.bmp と B034.bmp を C:\¥ImageAnalysis に移動させる。

(1-4) プログラムのダウンロードと解凍

画像ファイルと同様に、実験で用いるプログラムのファイルも三浦・臼杵研究室のホームページの機械工学実験のページ (<http://ktm11.eng.shizuoka.ac.jp/experiment.html>) からダウンロードします。

ダウンロードしたファイルは解凍して下さい。binary.exe, contraction.exe など合計 15 個のファイルができます。

(1-5) プログラムの移動

ダウンロードしたプログラムのファイルを(1-1)で作成したフォルダに移動させます。必ず作成したファイルの直下に移動させて下さい。

例) 15 個のプログラムのファイルを C:\¥ImageAnalysis に移動させる。

(2) コマンドプロンプトでのディレクトリ移動

「スタート」→「すべてのプログラム」→「アクセサリ」→「コマンドプロンプト」を選択し、コマンドプロンプト画面中において自分が作成したディレクトリに移動します。

例) コマンドプロンプトの画面で cd C:\¥ImageAnalysis (Enter) と入力する。

その他：画像ファイルをダブルクリックしても Windows のペイントが起動しない場合ペイントは「スタート」→「すべてのプログラム」→「アクセサリ」→「ペイント」にあります。